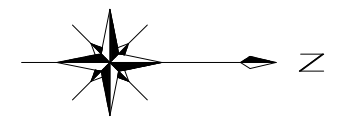


平面図

S=1:250



X=5000

X=5050

X=5100

X=5150

NO. 5+8.00 NO. 6 NO. 7 NO. 7+10.00 NO. 8 NO. 8+1.24 NO. 8+10.00 NO. 8+11.04 NO. 9 NO. 9+6.19 NO. 9+10.00 NO. 10 NO. 11 NO. 11+8.10

施工延長 L=120m

被覆防食 A=261m² 電気防食 N=30箇所

補強鋼板溶接 (3) L=20.00m

補強鋼板溶接 (2) L=38.10m

エプロン舗装更新 L=105.14m

上部工一部取壊し (1)-上部工復旧工 (1) L=120.11m

上部工取壊し (2)-上部工復旧工 (2) L=20.00m

上部工取壊し (2)-上部工復旧工 (2) L=38.10m

V型防眩材更新 H200-2000L N=24基

連続設置型車止め (既設) 一次撤去-復旧 L=101.52m

2@4.000=8.000

22@5.000=110.000

1 800

車止め更新 H250-1500L N=9基

2.830 8@1800=14.400 1.060

床掘 (1) E.L. -2.55

床掘 (2) E.L. -3.55

Y=4950

Y=4950

Y=5000

Y=5000

Y=5050

X=5000

X=5050

X=5100

X=5150

倉庫

事務所

基準点名	X座標	Y座標	標高
KSO-1	5000.000	5000.000	
KSO-2	5046.979	4981.814	

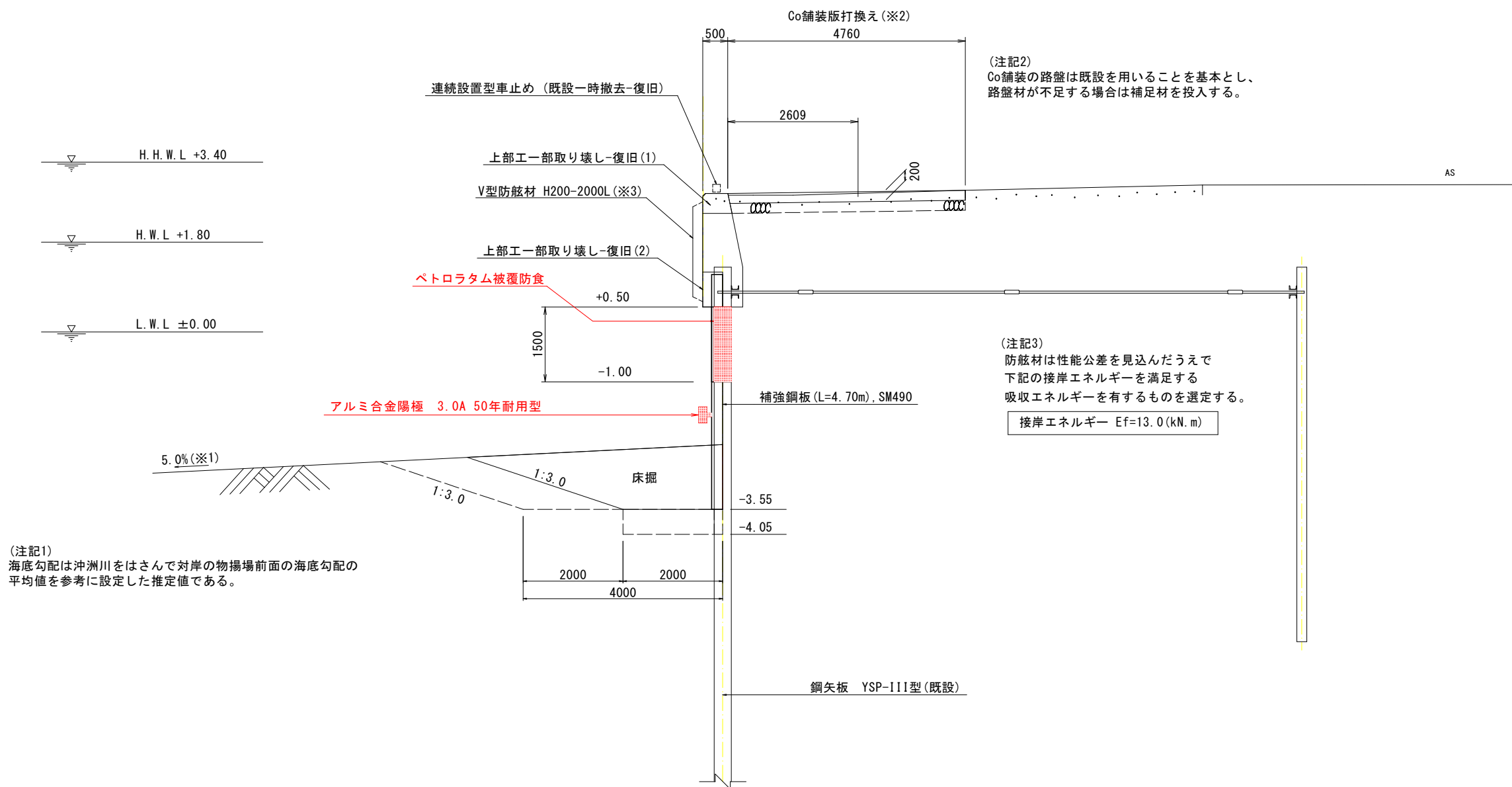
実施設計図面

工事名	R6 徳土 徳島小松島港 (沖洲地区) 徳・南沖洲5 物揚場修繕工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島小松島港 (沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲5丁目		
図面名	平面図	図面番号	1/9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島庁舎>		

標準断面図

S=1 : 50

NO. 11付近



(注記1)
海底勾配は沖洲川をはさんで対岸の物揚場前面の海底勾配の
平均値を参考に設定した推定値である。

(注記2)
Co舗装の路盤は既設を用いることを基本とし、
路盤材が不足する場合は補足材を投入する。

(注記3)
防舷材は性能公差を見込んだうえで
下記の接岸エネルギーを満足する
吸収エネルギーを有するものを選定する。
接岸エネルギー Ef=13.0 (kN.m)

実施設計図面

工事名	R6 徳土 徳島小松島港 (沖洲地区) 徳・南沖洲5 物揚場修繕工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島小松島港 (沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲5丁目		
図面名	標準断面図		
縮尺	S=1 : 50	図面番号	3/9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 <徳島庁舎>		

横断面図(1)

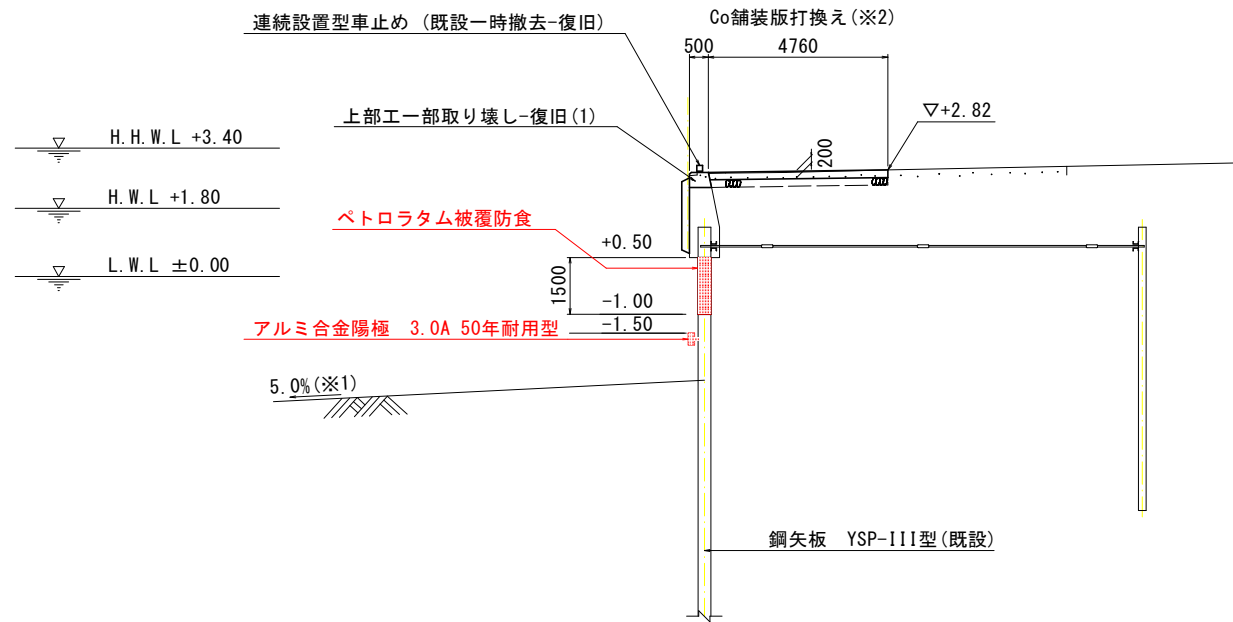
S=1:100

(注記1)
海底勾配は沖洲川をはさんで対岸の物揚場前面の海底勾配の平均値を参考に設定した推定値である。

(注記2)
Co舗装の路盤は既設を用いることを基本とし、路盤材が不足する場合は補足材を投入する。

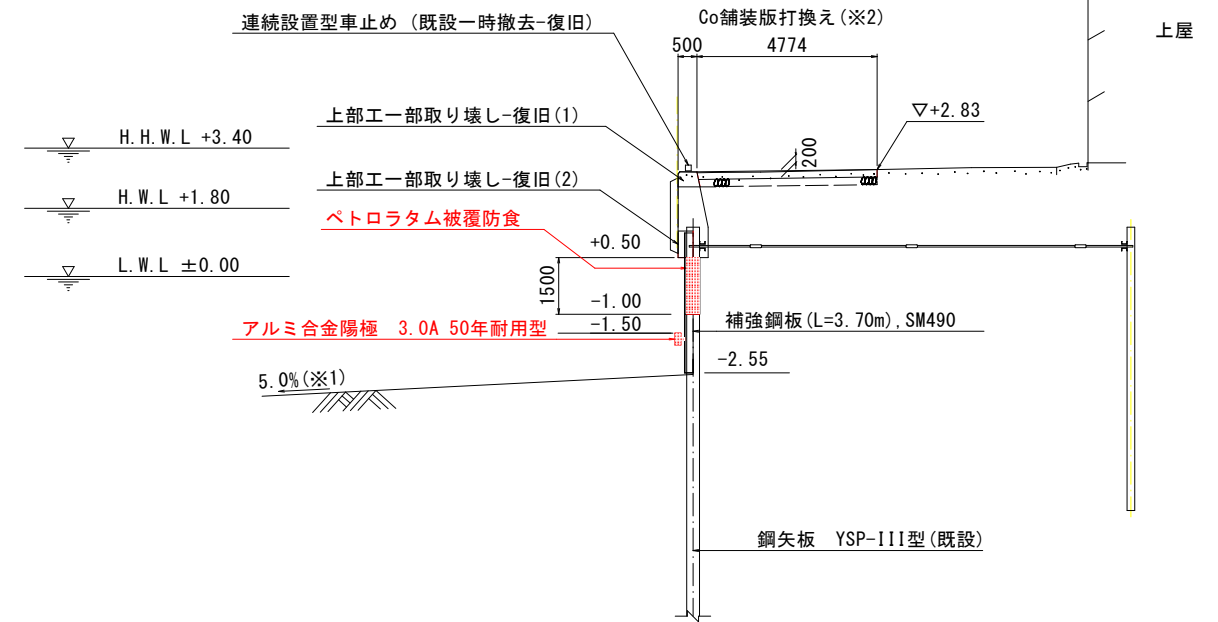
床掘	純土量	0.00	m2
	底面余掘	0.00	m2
	法面余掘	0.00	m2

NO. 7
GH=2.734
FH=



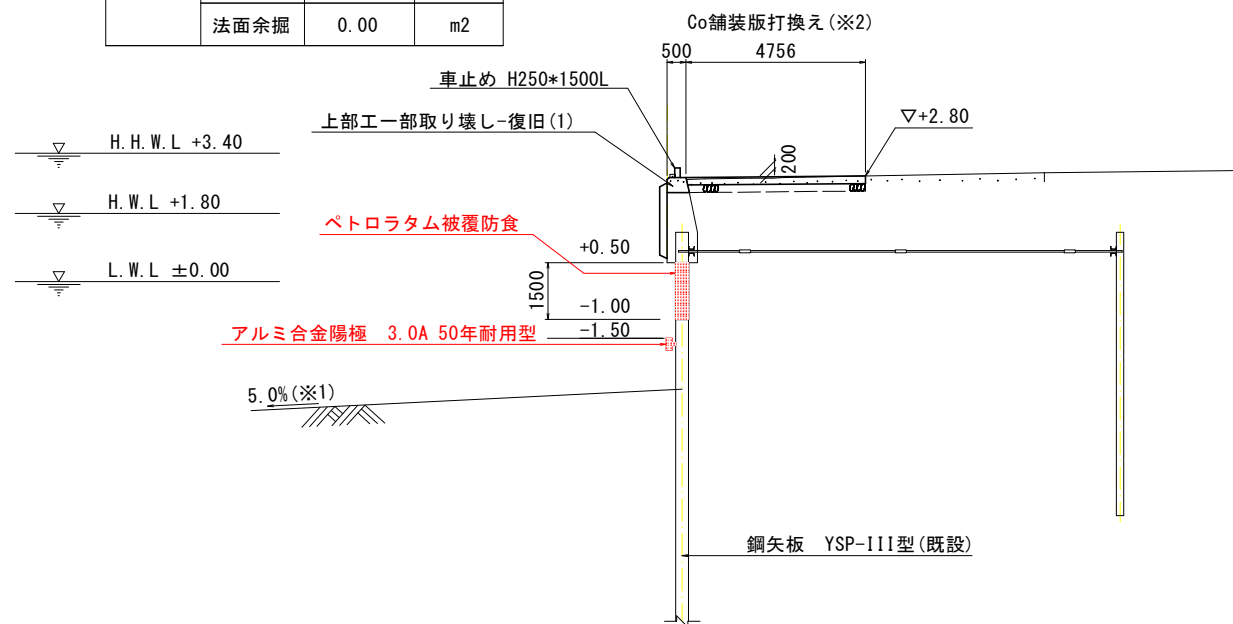
床掘	純土量	0.00	m2
	底面余掘	0.00	m2
	法面余掘	0.00	m2

NO. 8
GH=2.754
FH=



床掘	純土量	0.00	m2
	底面余掘	0.00	m2
	法面余掘	0.00	m2

NO. 6
GH=2.715
FH=



実施設計図面

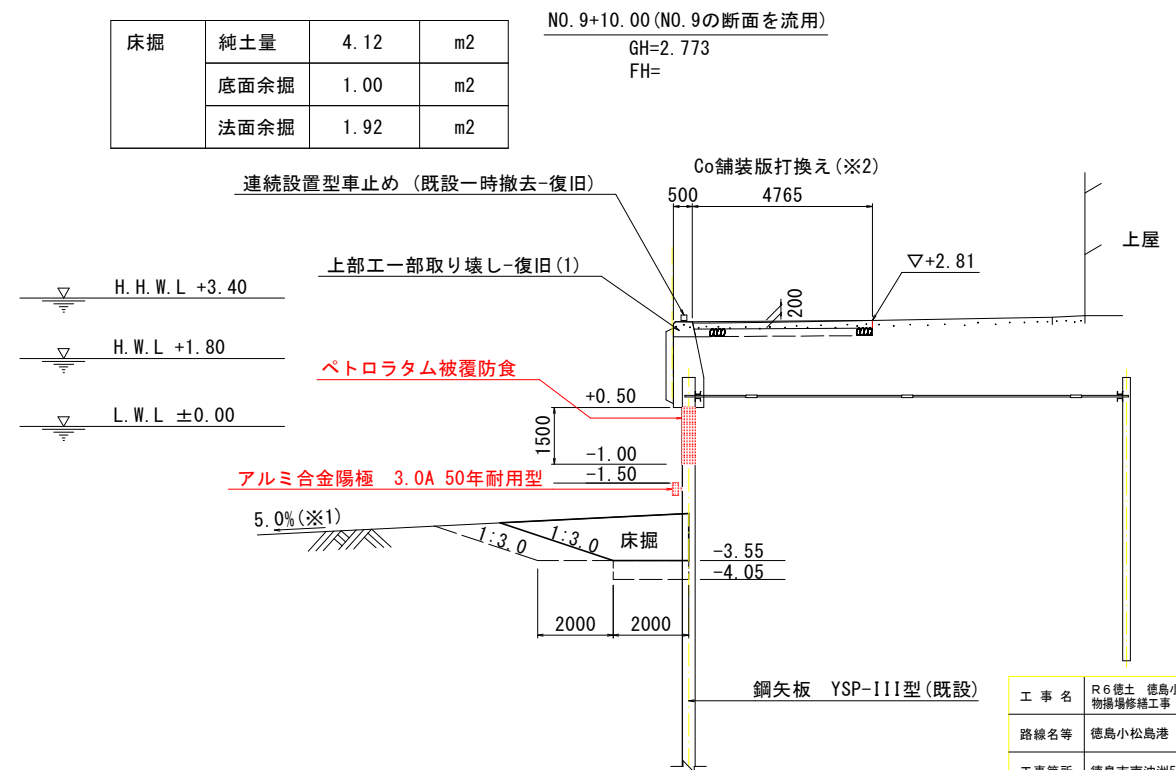
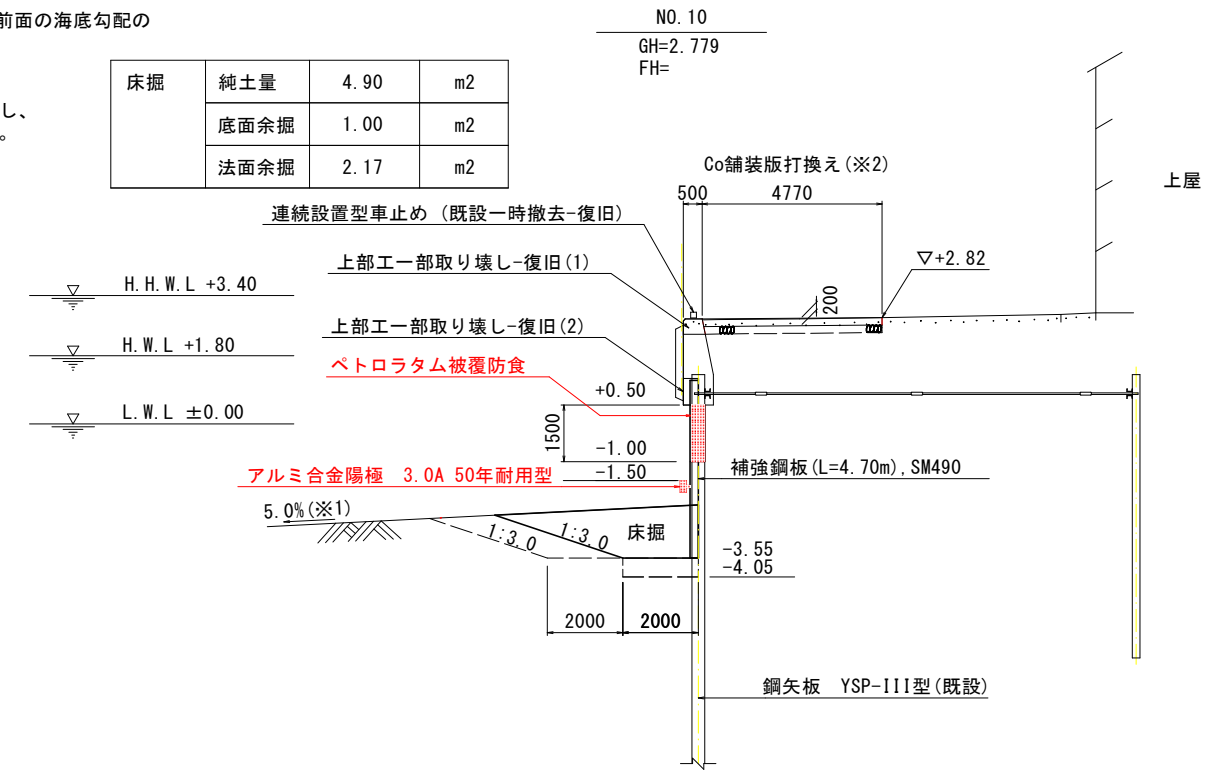
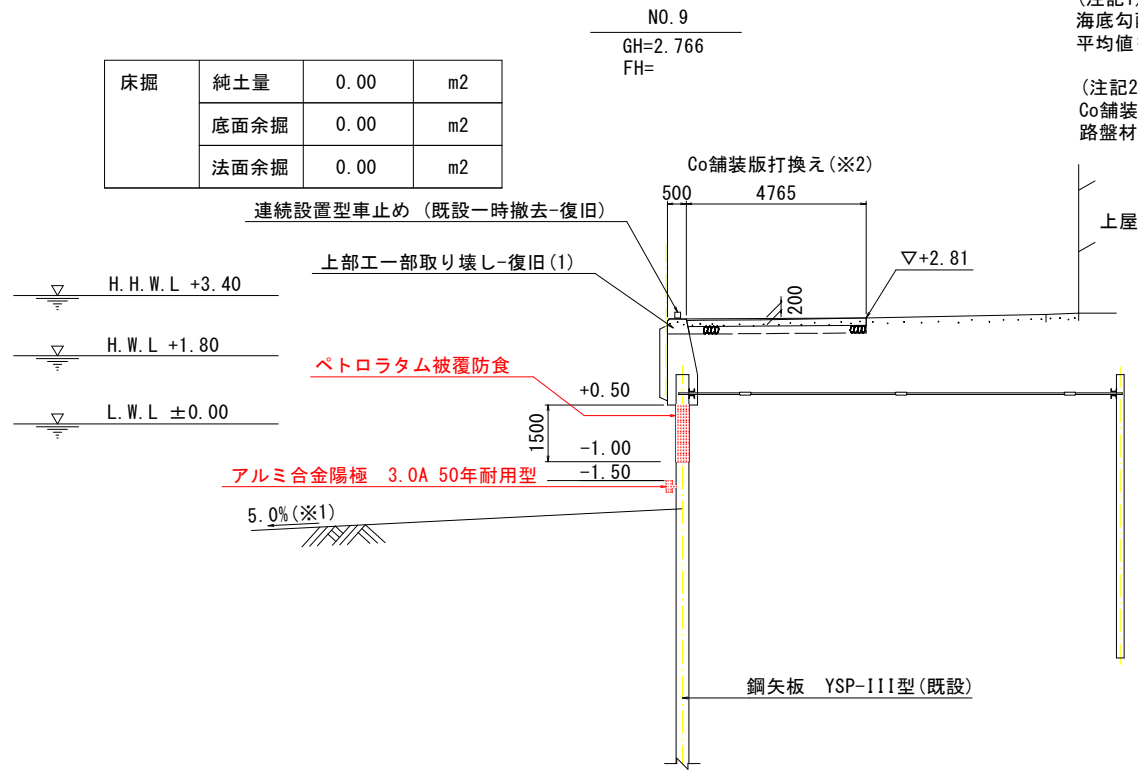
工事名	R6 徳島 徳島小松島港(沖洲地区) 徳・南沖洲5 物揚場修繕工事(担い手確保型)		
路線名等	徳島小松島港(沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲5丁目		
図面名	横断面図(1)		
縮尺	S=1:100	図面番号	4/9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島庁舎>		

横断面図(2)

S=1:100

(注記1)
海底勾配は沖洲川をはさんで対岸の物揚場前面の海底勾配の平均値を参考に設定した推定値である。

(注記2)
Co舗装の路盤は既設を用いることを基本とし、路盤材が不足する場合は補足材を投入する。



実施設計図面

工事名	R6 徳島 徳島小松島港(沖洲地区) 徳・南沖洲5物揚場修繕工事(担い手確保型)		
路線名等	徳島小松島港(沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲5丁目(第1分割)		
図面名	横断面図(2)		
縮尺	S=1:100	図面番号	5/9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島庁舎>		

横断面図(3)

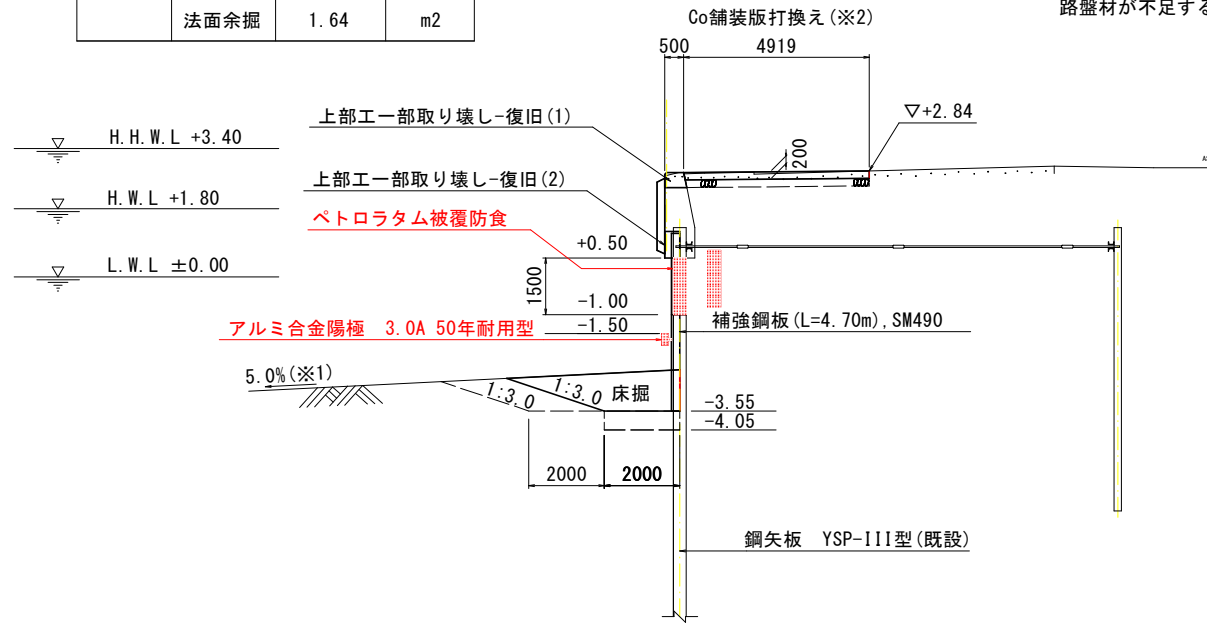
S=1:100

床掘	純土量	3.37	m ²
	底面余掘	1.00	m ²
	法面余掘	1.64	m ²

NO. 11+8.1
GH=2.763
FH=

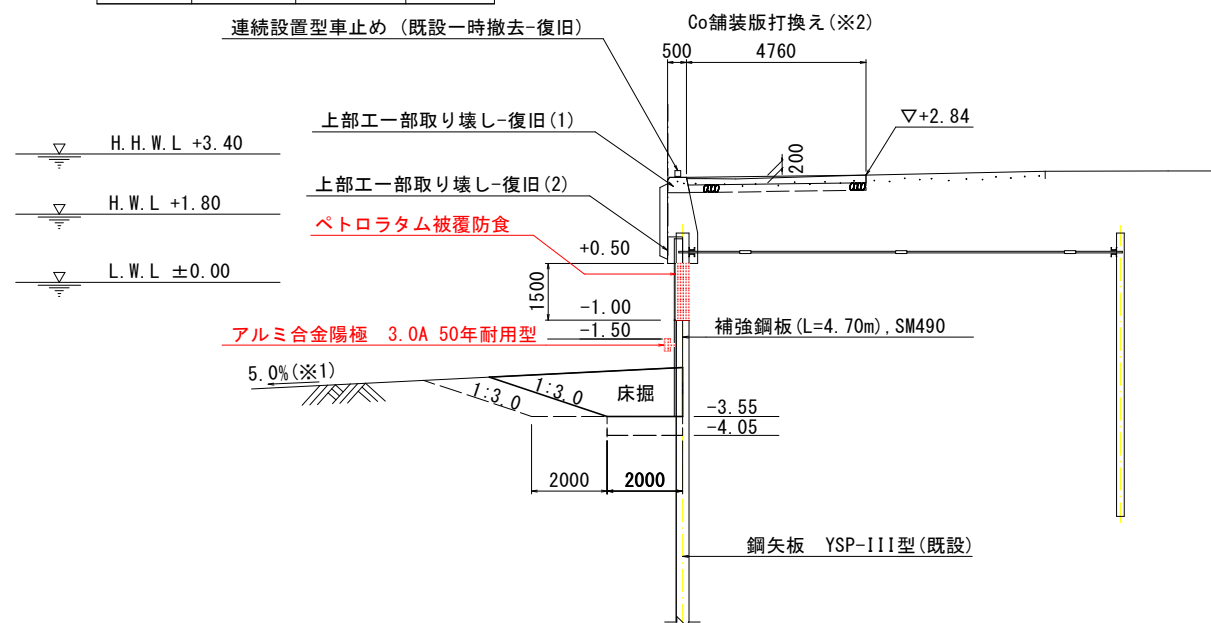
(注記1)
海底勾配は沖洲川をはさんで対岸の物揚場前面の海底勾配の平均値を参考に設定した推定値である。

(注記2)
Co舗装の路盤は既設を用いることを基本とし、路盤材が不足する場合は補足材を投入する。



床掘	純土量	4.36	m ²
	底面余掘	1.00	m ²
	法面余掘	1.99	m ²

NO. 11
GH=2.775
FH=

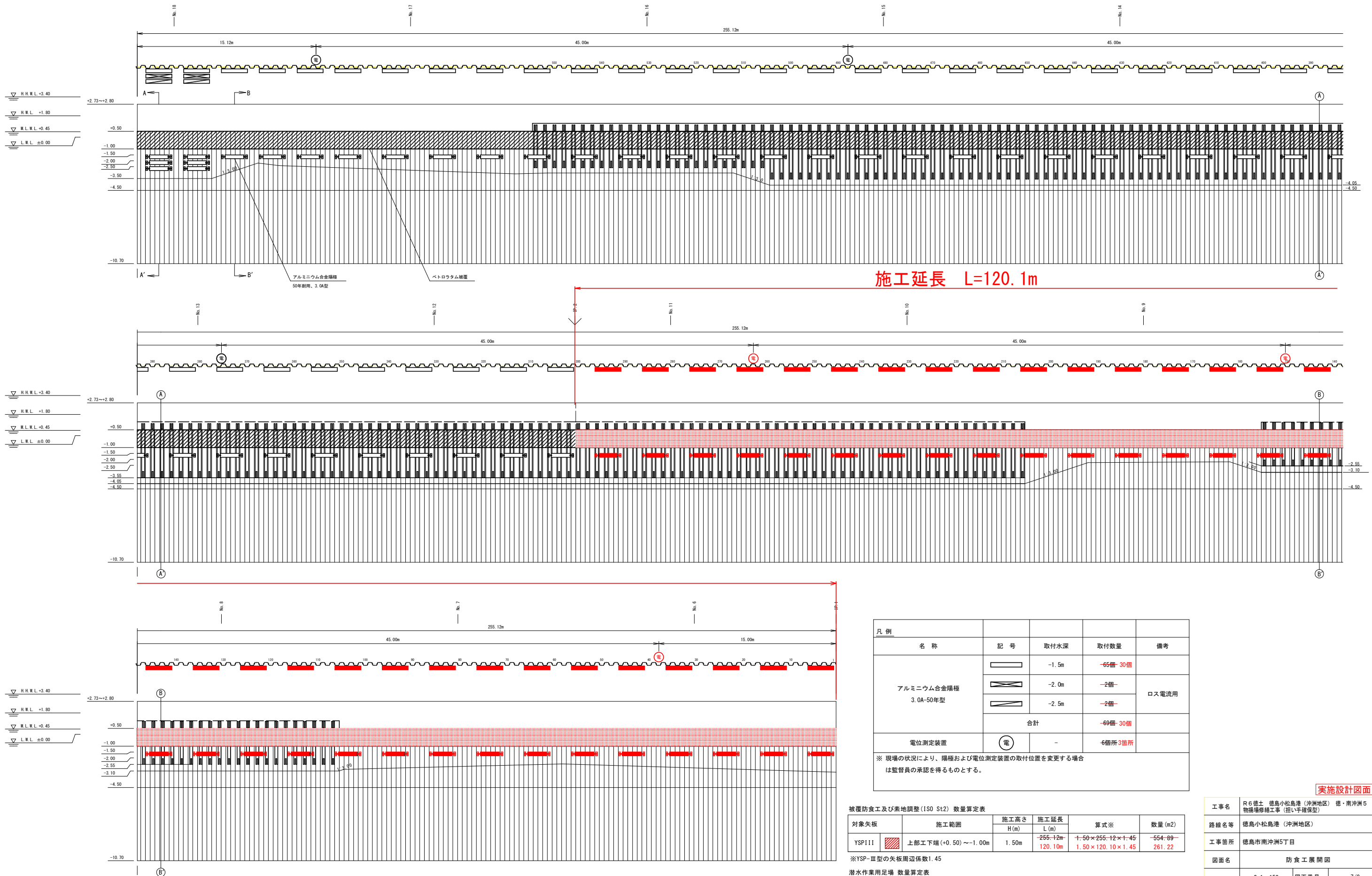


実施設計図面

工事名	R6徳島 徳島小松島港(沖洲地区) 徳・南沖洲5物揚場修繕工事(担い手確保型)		
路線名等	徳島小松島港(沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲5丁目		
図面名	横断面図(3)		
縮尺	S=1:100	図面番号	6/9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島庁舎>		

防食工展開図

S=1:150



施工延長 L=120.1m

凡例	名称	記号	取付水深	取付数量	備考
アルミニウム合金陽極 3.0A-50年型			-1.5m	-65個-30個	ロス電流用
			-2.0m	-2個-	
			-2.5m	-2個-	
		合計	-	-69個-30個	
電位測定装置		-	-	-6箇所-3箇所	

※ 現場の状況により、陽極および電位測定装置の取付位置を変更する場合は監督員の承認を得るものとする。

被覆防食工及び素地調整 (ISO St2) 数量算定表

対象矢板	施工範囲	施工高さ H (m)	施工延長		算式※	数量 (m ²)
			L (m)	L (m)		
YSP111	上部工下地 (+0.50) ~ -1.00m	1.50m	-255-12m 120.10m	-	$1.50 \times 255.12 \times 1.45$ $1.50 \times 120.10 \times 1.45$	-554.09- 261.22

※YSP-III型の矢板周辺係数1.45

潜水作業用足場 数量算定表

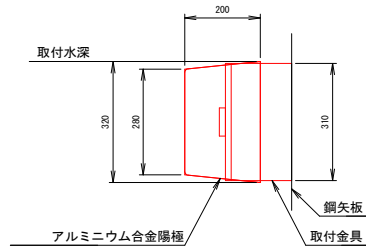
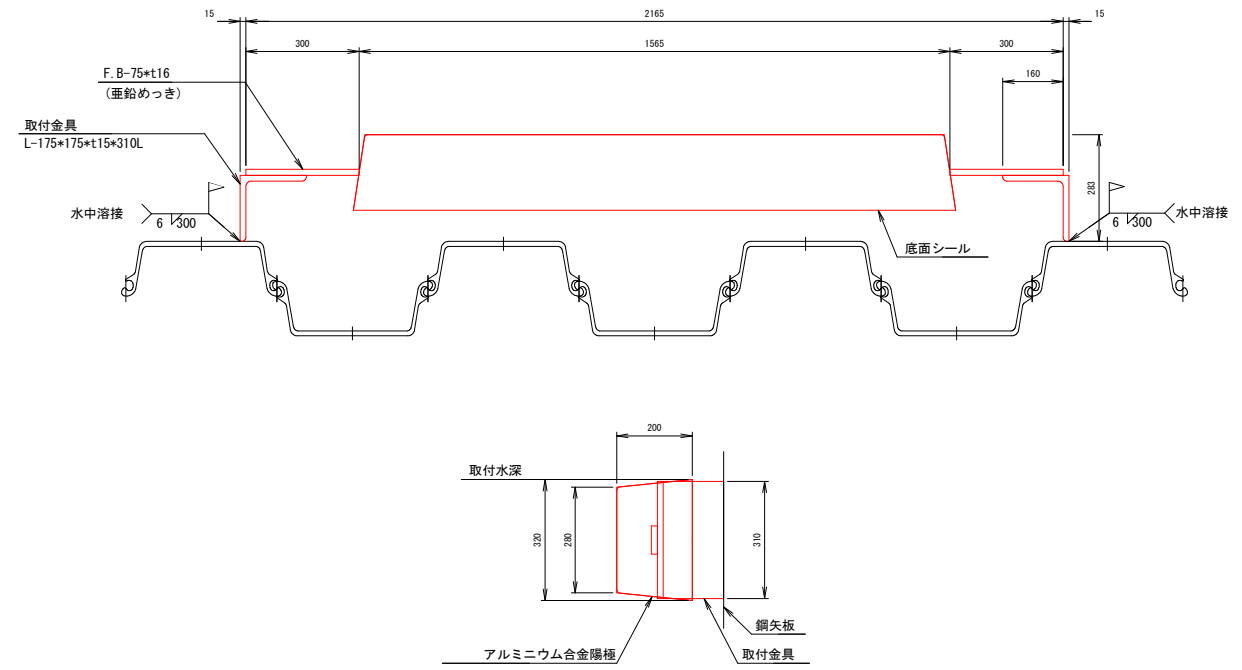
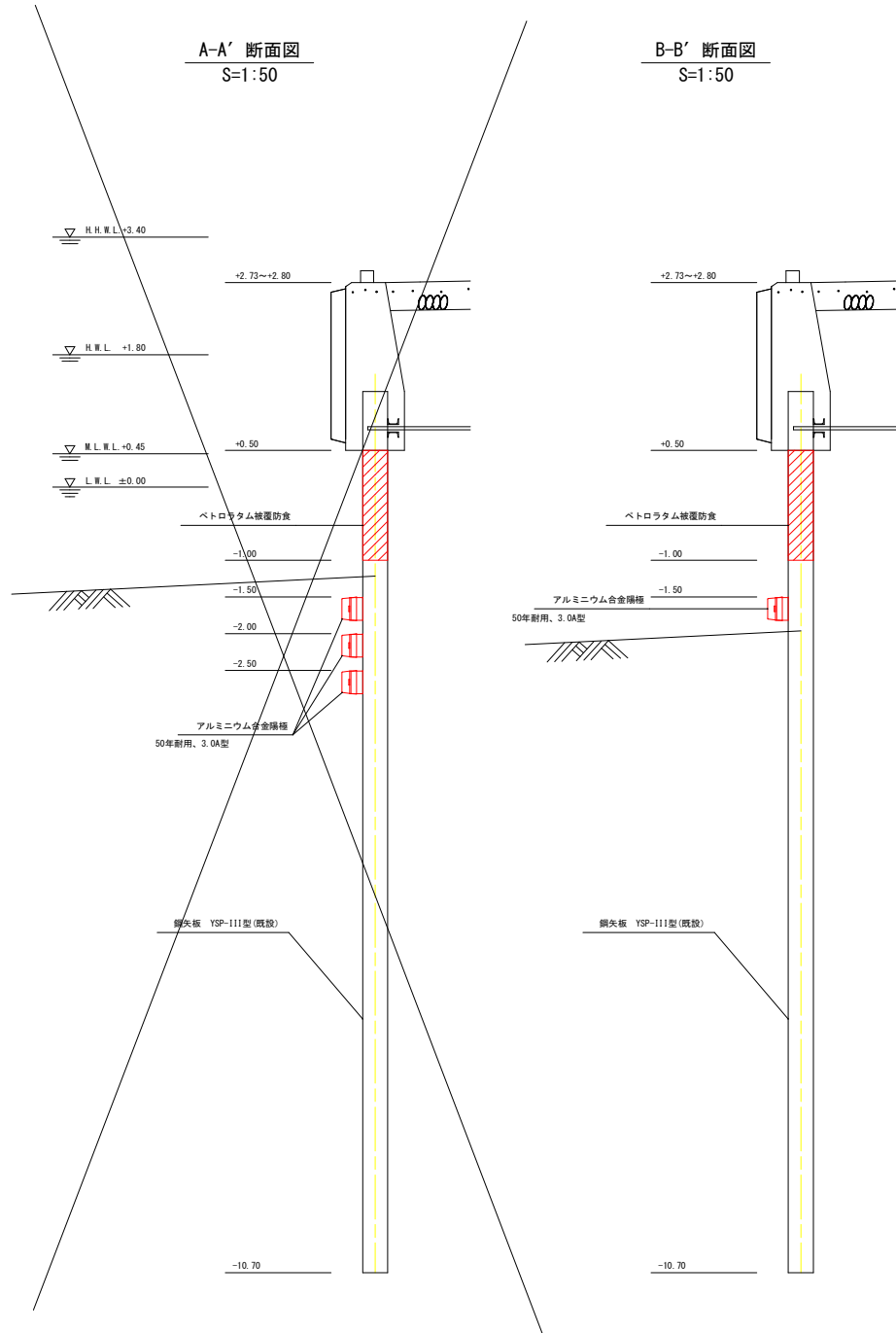
潜水作業用足場	施工延長
	L (m)
	-255-12m 120.10m

実施設計図面

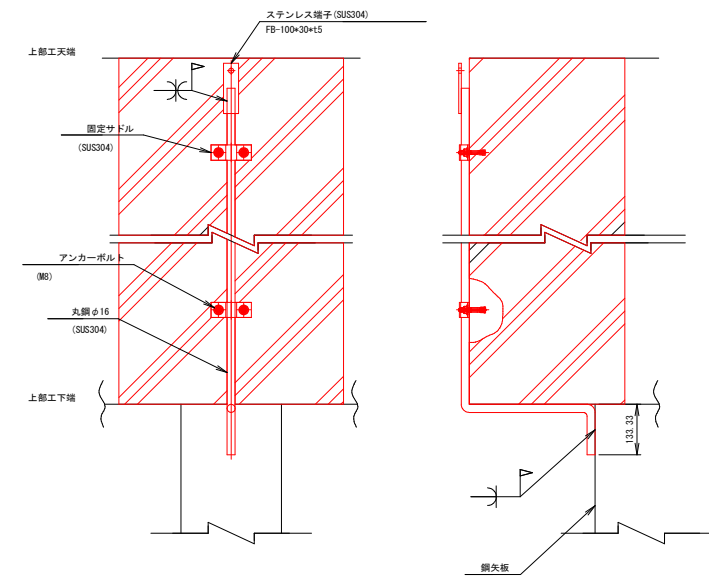
工事名	R6 徳土 徳島小松島港 (沖洲地区) 徳・南沖洲5 物揚場修繕工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島小松島港 (沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲5丁目		
図面名	防食工展開図		
縮尺	S=1:150	図面番号	7/9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島庁舎>		

防食工 取付要領図

アルミニウム合金陽極 取付要領図
50年耐用、3.0A型 S=1:10



電位測定装置 取付要領図
丸鋼立上げ型 S=NONE



実施設計図面

工事名	R6徳土 徳島小松島港(沖洲地区) 徳・南沖洲5物揚場修繕工事(担い手確保型)		
路線名等	徳島小松島港(沖洲地区)		
工事箇所	徳島市南沖洲5丁目		
図面名	防食工 取付要領図		
縮尺	S=図示	図面番号	8/9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島庁舎>		

